



平成26年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月4日

上場会社名 株式会社オンワードホールディングス 上場取引所 東 名  
 コード番号 8016 URL http://www.onward-hd.co.jp/  
 代表者 (役職名)代表取締役会長兼社長 (氏名) 廣内 武  
 問合せ先責任者 (役職名)専務取締役管理部門担当 (氏名) 吉沢 正明 (TEL)03(4512)1030  
 四半期報告書提出予定日 平成25年10月15日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト・報道機関向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年2月期第2四半期の連結業績 (平成25年3月1日～平成25年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期第2四半期	132,319	9.5	3,331	5.5	4,771	28.2	1,651	216.0
25年2月期第2四半期	120,886	6.3	3,157	97.5	3,722	50.6	522	578.8

(注) 包括利益 26年2月期第2四半期 7,959百万円(912.5%) 25年2月期第2四半期 786百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
26年2月期第2四半期	円 銭 10.52	円 銭 10.42
25年2月期第2四半期	3.33	3.30

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
26年2月期第2四半期	百万円 294,503	百万円 169,662	% 57.0
25年2月期	286,779	165,372	57.1

(参考) 自己資本 26年2月期第2四半期 167,874百万円 25年2月期 163,721百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
25年2月期	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 24.00	円 銭 24.00
26年2月期	—	—	—	—	—
26年2月期(予想)	—	—	—	24.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年2月期の連結業績予想 (平成25年3月1日～平成26年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	277,000	7.2	12,900	15.3	14,800	10.4	5,000	11.0	31.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しています。詳細は、【添付資料】P.3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年2月期2Q	172,921,669株	25年2月期	172,921,669株
26年2月期2Q	16,010,510株	25年2月期	16,046,184株
26年2月期2Q	156,890,284株	25年2月期2Q	156,818,594株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績予想に関する記述は、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、【添付資料】P.3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(5) セグメント情報等 .....	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間(平成25年3月1日～平成25年8月31日)におけるわが国経済は、政府による経済対策などの効果により、円高の是正や株式市場が活況となり、企業収益や個人消費が改善されるなど、緩やかな回復基調となりました。しかしながら、欧州債務問題や新興国経済の成長鈍化など世界経済の下振れ懸念もあり、依然として先行き不透明な状況が続いています。

当アパレル・ファッション業界では、消費者の節約志向は依然あるものの、景気回復への期待による消費マインドの好転から、高額品の需要が活発になるなど、市況は持ち直しつつあります。

このような経営環境のなか、当社グループは国内事業、海外事業ともに積極的な売上拡大により成長性を高める施策を推進しました。

国内事業につきましては、株式会社オンワード樫山が、企画提案力を高め積極的な販売施策を推進したことにより、基幹ブランドをはじめとした主要ブランドの売上拡大がはかれ、計画を上回る増収増益を達成しました。また、その他の国内子会社も売上拡大が順調に進み、急激な円安による原価高の影響や、新規子会社の基盤整備など一部には減益要因はあるものの概ね計画通りの業績となりました。

海外事業につきましては、アジア地区の売上回復が依然遅れていますが、欧州地区は売上拡大により収益改善が計画通り進行しています。但し、成長性を高めるために必要な投資も行っていることから、本格的な業績回復は下期以降に見込んでいます。

以上の結果、連結売上高は1,323億19百万円(前年同期比9.5%増)、連結営業利益は33億31百万円(前年同期比5.5%増)、連結経常利益は47億71百万円(前年同期比28.2%増)、連結四半期純利益は16億51百万円(前年同期比216.0%増)となりました。

セグメント別の状況は、次のとおりです。

#### ① アパレル関連事業

国内事業につきましては、株式会社オンワード樫山において、基幹ブランドを中心に売上拡大が進み、特に「組曲」は二桁の増収と好調に推移しました。また、新流通事業は、路面店、ファッションビルなどの店舗売上が拡大するとともに、ネットビジネスを大きく伸長することができました。その結果、収益性の高い基幹ブランド、ネットビジネスの売上増加により計画を上回る増益を達成しました。その他の子会社においても、全体的に売上拡大がはかれ概ね計画通りの業績となりました。

海外事業につきましては、中核となる欧州地区の売上拡大と収益改善は計画通り推移し、回復途中のアジア地区、新規事業の構築を進めている北米地区を含め、計画範囲内の業績となりました。

#### ② その他の事業

サービス関連事業につきましては、商業施設などの設計・施工事業の株式会社オンワードクリエイティブセンターが、既存事業に加え新規事業の拡大を推進し、ファッション物流事業のアクロストラנסポート株式会社も、売上拡大がはかれ、両社ともに増収増益を達成しました。また、リゾート事業につきましては、集客力と運営効率を高め、大幅な増収増益となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### (資産、負債、純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ77億23百万円増加し、2,945億3百万円となりました。負債は、前連結会計年度末に比べ34億34百万円増加し、1,248億41百万円となりました。純資産は、前連結会計年度末に比べ42億89百万円増加し、1,696億62百万円となり、自己資本比率は、57.0%となりました。

#### (キャッシュ・フローの状況)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益が21億49百万円増加したこと等により前年同期に比べ34億31百万円増加し、55億55百万円の収入(前年同期は21億24百万円の収入)となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、売場設備への投資等により34億76百万円の支出（前年同期は43億60百万円の支出）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払が主なもので46億33百万円の支出（前年同期は72億62百万円の支出）となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は前連結会計年度末に比べて15億25百万円減少し、230億19百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成26年2月期の通期の連結業績予想につきましては、第2四半期の状況および最近の為替動向を踏まえ平成25年4月5日に公表しました業績予想から売上高を変更しています。詳細につきましては、本日公表の「平成26年2月期第2四半期連結累計期間の業績予想値と実績値との差異および通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社および国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成25年3月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しています。

なお、これによる当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微です。

(追加情報)

(連結納税制度の適用)

当社および一部の連結子会社は、第1四半期連結会計期間より連結納税制度を適用しています。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	24,677	23,171
受取手形及び売掛金	25,863	26,432
商品及び製品	29,226	31,659
仕掛品	1,780	1,795
原材料及び貯蔵品	3,470	5,651
その他	15,755	15,482
貸倒引当金	△452	△572
流動資産合計	100,321	103,621
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	25,680	27,918
土地	50,061	51,830
その他(純額)	11,119	12,065
有形固定資産合計	86,861	91,814
無形固定資産		
のれん	32,769	31,286
その他	2,688	2,945
無形固定資産合計	35,457	34,231
投資その他の資産		
投資有価証券	42,730	45,726
その他	23,950	21,651
貸倒引当金	△2,541	△2,542
投資その他の資産合計	64,138	64,835
固定資産合計	186,458	190,881
資産合計	286,779	294,503

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	33,512	37,536
短期借入金	47,581	48,566
未払法人税等	4,829	1,125
賞与引当金	1,289	1,847
役員賞与引当金	252	96
返品調整引当金	528	466
ポイント引当金	249	240
その他	12,496	13,860
流動負債合計	100,740	103,740
固定負債		
長期借入金	1,323	1,902
退職給付引当金	3,058	3,098
役員退職慰労引当金	152	136
その他	16,132	15,962
固定負債合計	20,666	21,100
負債合計	121,407	124,841
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	30,079	30,079
資本剰余金	50,043	50,043
利益剰余金	120,164	118,024
自己株式	△23,146	△23,089
株主資本合計	177,141	175,057
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,531	4,130
繰延ヘッジ損益	34	59
土地再評価差額金	△12,502	△12,502
為替換算調整勘定	△2,483	1,128
その他の包括利益累計額合計	△13,420	△7,183
新株予約権	724	764
少数株主持分	926	1,023
純資産合計	165,372	169,662
負債純資産合計	286,779	294,503

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
売上高	120,886	132,319
売上原価	63,136	69,873
売上総利益	57,749	62,445
販売費及び一般管理費	54,591	59,113
営業利益	3,157	3,331
営業外収益		
受取利息	46	61
受取配当金	254	273
受取ロイヤリティー	328	400
受取地代家賃	300	361
持分法による投資利益	144	47
その他	690	1,015
営業外収益合計	1,764	2,158
営業外費用		
支払利息	338	292
売場什器等除却損	83	121
為替差損	505	—
その他	271	305
営業外費用合計	1,199	719
経常利益	3,722	4,771
特別利益		
固定資産売却益	7	187
投資有価証券売却益	—	887
特別利益合計	7	1,075
特別損失		
減損損失	91	93
その他	66	31
特別損失合計	157	125
税金等調整前四半期純利益	3,572	5,721
法人税等合計	3,043	4,062
少数株主損益調整前四半期純利益	529	1,658
少数株主利益	6	7
四半期純利益	522	1,651



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	529	1,658
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△307	2,563
繰延ヘッジ損益	△140	25
為替換算調整勘定	444	3,393
持分法適用会社に対する持分相当額	259	318
その他の包括利益合計	257	6,301
四半期包括利益	786	7,959
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	773	7,887
少数株主に係る四半期包括利益	12	72

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	3,572	5,721
減価償却費	2,652	3,155
減損損失	91	93
のれん償却額	1,937	1,698
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△136	51
退職給付引当金の増減額(△は減少)	281	60
受取利息及び受取配当金	△301	△334
支払利息	338	292
売上債権の増減額(△は増加)	2,865	869
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,535	△3,099
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,097	2,444
その他	△1,912	△2,331
小計	6,755	8,622
利息及び配当金の受取額	453	488
利息の支払額	△318	△307
法人税等の支払額	△6,331	△4,664
法人税等の還付額	1,564	1,416
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,124	5,555
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△26	△15
定期預金の払戻による収入	1,040	5
有形固定資産の取得による支出	△2,419	△5,132
投資有価証券の取得による支出	△944	△36
投資有価証券の売却による収入	—	2,139
長期前払費用の取得による支出	△259	△441
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△1,274	△6
連結子会社株式の追加取得による支出	△14	—
その他	△462	10
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,360	△3,476
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△2,124	3,018
長期借入れによる収入	2,035	336
長期借入金の返済による支出	△2,882	△3,748
自己株式の取得による支出	△2	△3
配当金の支払額	△3,762	△3,765
その他	△526	△471
財務活動によるキャッシュ・フロー	△7,262	△4,633
現金及び現金同等物に係る換算差額	△184	1,029
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△9,683	△1,525
現金及び現金同等物の期首残高	32,087	24,544
現金及び現金同等物の四半期末残高	22,404	23,019

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年3月1日至平成24年8月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	アパレル関連事業				その他の事業	計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	(日本)	(欧州)	(アジア ・北米)	計				
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	95,744	14,406	3,062	113,212	7,673	120,886	—	120,886
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	886	161	159	1,207	3,623	4,831	△4,831	—
計	96,630	14,568	3,221	114,420	11,297	125,717	△4,831	120,886
セグメント利益又は損失 (△)	5,243	△579	45	4,709	254	4,963	△1,805	3,157

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,805百万円には、のれんの償却額△1,937百万円およびセグメント間取引消去1,843百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,711百万円が含まれています。全社費用は主にセグメントに帰属しない一般管理費です。

(注) 2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しています。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第2四半期連結会計期間における、重要な発生および変動はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年3月1日至平成25年8月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	アパレル関連事業				その他の事業	計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	(日本)	(欧州)	(アジア ・北米)	計				
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	99,911	20,173	3,773	123,858	8,460	132,319	—	132,319
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	666	257	209	1,132	4,303	5,435	△5,435	—
計	100,577	20,431	3,982	124,991	12,763	137,754	△5,435	132,319
セグメント利益又は損失 (△)	6,020	△1,216	△276	4,527	280	4,808	△1,476	3,331

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,476百万円には、のれんの償却額△1,698百万円およびセグメント間取引消去1,996百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,774百万円が含まれています。全社費用は主にセグメントに帰属しない一般管理費です。

(注) 2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しています。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第2四半期連結会計期間における、重要な発生および変動はありません。

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。